



地域に根ざし、世界をみざす「ふくしの総合大学」

日本福祉大学 Since 1953

教員情報

久野研二 (くの けんじ) Kuno Kenji

日本福祉大学大学院 国際社会開発研究科(通信教育)客員教授

【現職】

- 国際協力機構(JICA)・国際協力専門員(社会保障:主に障害)
- 特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム 代表理事

【学歴】

- 英国イースト・アングリア大学大学院(開発学):博士(学術)
- 英国イースト・アングリア大学大学院(開発学部):修士(農村開発)
- 法政大学第二文学部:学士(教育)
- 札幌医科大学衛生短期大学部理学療法学科:準学士

【主な活動・研究課題】

1991年から現在まで、JICA や NGO の派遣でマレーシア(15年)やインドネシア(3年)、またバングラディッシュなどの途上国での活動と、英国での留学・研究に従事。現場の活動も研究もどちらも重要だと思っている。

1. 開発と障害

- 開発という取り組みを障害の視点から捉えなおすこと、同時に、障害の取り組みを開発という文脈から捉えなおすこと、その両者によって「開発」と「障害」を結びつけ、途上国において障害者が直面している課題(社会的排除と参加の制限)と取り組む具体的な枠組みや戦略を考える。分析概念としてのアマルティア・センの「ケイパビリティ・アプローチ」、実践概念としての「ツイン・トラック・アプローチ」(エンパワメントとメインストリーミングを並行して行う方法)、また具体的活動としての「地域社会に根ざしたリハビリテーション(CBR)」が具体的な研究課題。博士論文のテーマは「Community Based Rehabilitation (CBR) and Participation of Disabled People: Potentials and Limitations in Practice」だった。

2. 障害平等研修

- 障害平等研修とは「障害の社会モデル」に基づいた障害教育の方法論である。障害を、機能障害としてではなく、差異がある(とみなされた)人々に対する社会的に構築された差別・排除としてとらえ取り組むための障害学習の方法で、英国を中心に発展している。指導者育成やマニュアルの作成を行っている(例えば: www.detforum.com)
- 特定非営利活動法人障害平等研修フォーラム代表
<http://fields.canpan.info/organization/detail/1395334061>

【主な研究業績】

- 『障害者の社会開発: CBR の概念とアジアを中心とした実践』(共著)、明石書店 1997
- 『リハビリテーション国際協力入門』(共著)、三輪書店、2004
- 『障がいて、なあに』(翻訳)、明石書店、2004
- 『障害者自身が指導する権利・平等と差別を学ぶ研修ガイド: 障害平等研修とは何か』(翻訳)、明石書店、2005
- 『障害と開発: 途上国の障害当事者と社会』(分担執筆: 森壮也編)、アジア経済研究所、2007
- 『途上国の障害者の貧困削減』(分担執筆: 森壮也編)、岩波書店、2010
- 『ピア・ボランティア 世界へ: 障害者の国際協力』(編著)、現代書館、2012(近刊)
- 『地域・生活・国家』(分担執筆: 水島司, 和田清美編) 日本経済評論社、2012

【主な所属学会】

日本障害学会(2004-)